

2022年10月30日(日) 河北新報 「釜谷で震災後初の花火」

復興への感謝、未来への希望込め

石巻・釜谷で震災後初の花火

東日本大震災で甚大な被害を受けた石巻市釜谷地区で29日、復興支援への感謝と未来への希望を込めた花火約300発が打ち上げられた。釜谷地区での花火は震災後初めて。

石巻観光協会の主催。午後6時半ごろから約20分間、赤やオレンジ、緑といった色とりどりの花火が上がった。大輪が夜空を彩り、周囲の家族連れなどから歓声と拍手が起きた。

横山宗一副会長(66)は「震災後、釜谷地区や北上川を挟む北上地区の人口が大きく減った。花火をきっかけに、みんなでふるさとの将来を考えてほしい」と願った。

釜谷地区は津波で児童・教職員計84人が犠牲になった市の震災遺構「大川小」がある。3年の長女未擦さん(当時9)は「失った只野英昭さん(51)は「亡くなった子どもたちも喜んでくれたと思う」と目を細めた。



大川小の背後で打ち上がる花火＝29日午後6時50分ごろ